

家庭でのインターネット利用

コンピュータウイルス対策と有害情報対策

ネットワークに潜む危険の中の「コンピュータウイルス対策」と「有害情報対策」について考えてみましょう。

コンピュータウイルス対策



どんなときコンピュータウイルスに感染するのか

- ・ウイルスに感染したホームページを閲覧する
- ・ウイルスに感染したメールやその添付ファイルを開く
- ・ネットワークを通して侵入してくる 等

コンピュータウイルスに感染すると

コンピュータ内のデータが壊される
コンピュータが動かなくなる
コンピュータ内のデータが盗まれる
勝手にメールを送りつける
等の障害が起こります

対策

コンピュータウイルス対策ソフトをインストールする

一般的なコンピュータウイルス対策ソフトの有効期限は1年間です。1年後は更新の手続きが必要となりますので注意しましょう。

有害情報対策



どんなとき有害情報に接するのか

- ・調べ学習をしていて偶然、接する
- ・キーワードで検索していて偶然、接する
- ・興味本位で接続する 等

有害情報へアクセスすると

成人向け、自殺、薬物等の有害サイトを閲覧してしまう
悪意のネット通販による詐欺に遭う
法律で禁じられているものを購入する
等による子どもへの悪影響があります

対策

フィルタリングソフトを導入する

フィルタリングソフトとは、インターネットの有害情報を遮断するためのソフトのことです。

フィルタリングソフトには2種類あります。

- ・パソコンにインストールするタイプ
- ・プロバイダが提供するフィルタリングサービス

Point

フィルタリングソフトを導入しても、有害情報から完璧に守られるわけではありません。保護者が子どものパソコンの使用状況を常に把握していることが大切です。

